

宮崎県感染症週報

宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

宮崎県第20週の発生動向

□ 全数報告の感染症 (20週までに新たに届出のあったもの)

- 1 類感染症：報告なし。2 類感染症：結核 1 例。3 類感染症：腸管出血性大腸菌感染症 1 例。
- 4 類感染症：報告なし。5 類感染症：破傷風 1 例、百日咳 17 例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	宮崎市	50 歳代	女	無症状病原体保有者	—
3類	腸管出血性大腸菌感染症	宮崎市	80 歳代	女	—	腹痛、水様性下痢、血便、発熱、O121 (VT2産生)
5類	破傷風	高鍋	60 歳代	女	—	開口障害、嚥下障害、痙攣、ワクチン接種歴：不明

	疾患名	報告保健所	報告数	年齢群					症状
				0~4歳	5~9歳	10歳代	50歳代	60歳代	
5類	百日咳	都城	1例			1			持続する咳、夜間の咳き込み、呼吸苦、スタッカート、ウーブ、嘔吐
		日南	3例			2	1		
		高鍋	12例	1	1	9		1	
		日向	1例		1				

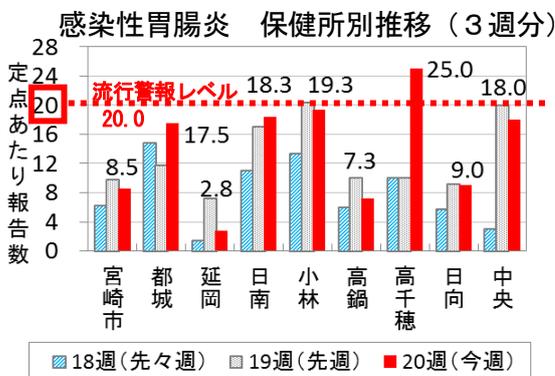
□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

・定点医療機関からの報告総数は 1,006 人 (定点当たり 28.8) で、前週比 99% とほぼ横ばいであった。なお、前週に比べ増加した主な疾患は手足口病で、減少した主な疾患は流行性耳下腺炎と流行性角結膜炎である。

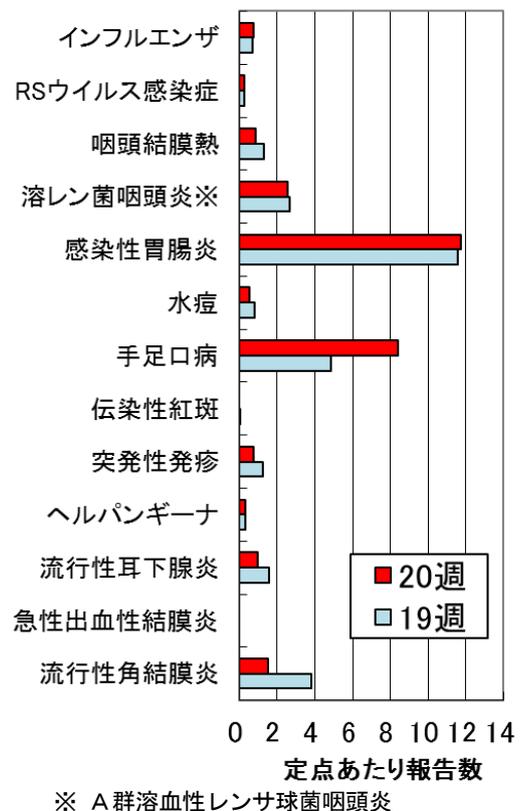
★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

【感染性胃腸炎】

報告数は 422 人 (11.7) で、前週比 101% とほぼ横ばいであり、例年同時期の定点当たり平均値* (10.0) の約 1.2 倍である。高千穂 (25.0)、小林 (19.3)、日南 (18.3)、中央 (18.0)、都城 (17.5) 保健所からの報告が多く、年齢群別では 1~5 歳が全体の約 6 割を占めている。



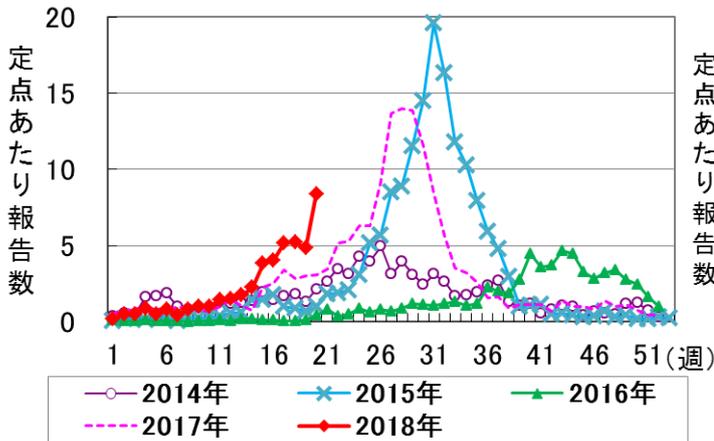
《前週との比較》



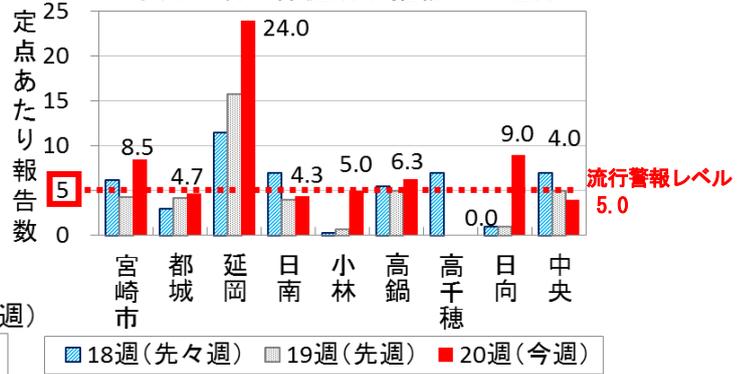
【手足口病】

報告数は 302 人 (8.4) で、前週比 174% と増加し、例年同時期の定点当たり平均値* (1.4) の約 5.9 倍である。延岡 (24.0)、日向 (9.0)、宮崎市 (8.5) 保健所からの報告が多く、年齢群別では 1~3 歳が全体の約 8 割を占めている。

手足口病 発生状況



手足口病 保健所別推移 (3週分)



【流行性耳下腺炎】

報告数は35人(0.97)で、前週比61%と減少したが、例年同時期の定点あたり平均値*(0.92)の約1.1倍である。2018年第1週からの累計年齢群別は3~7歳が全体の約7割を占める。日南保健所(10.3)からの報告が多く、今年に入ってから流行警報レベル開始基準値を超えることが多い。

* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均

★基幹定点からの報告★

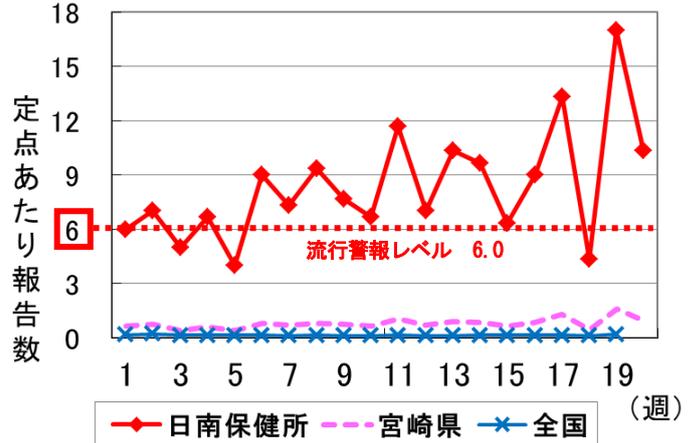
○感染性胃腸炎(ロタウイルス) :

高鍋保健所からの報告で、10歳未満である。
なお、病原体の群別は不明である。

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値超過疾患

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値超過疾患
宮崎市	手足口病(8.5)
都城	なし
延岡	手足口病(24.0)
日南	流行性耳下腺炎(10.3)
小林	手足口病(5.0)
高鍋	手足口病(6.3)
高千穂	感染性胃腸炎(25.0)
日向	手足口病(9.0)
中央	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(26.0)

流行性耳下腺炎 発生状況 (第1週~第20週)



* 流行警報レベル開始基準値*

- ・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(8.0)
- ・感染性胃腸炎(20.0)
- ・手足口病(5.0)
- ・流行性耳下腺炎(6.0)

口病原体検出情報 (衛生環境研究所微生物部 平成30年5月21日までに検出)

★細菌

同定細菌名	年齢	性別	採取月日	臨床症状等	検出材料	分離・検出日
<i>Bordetella pertussis</i> (百日咳菌)	0~4歳	男	2018.04.24	百日咳疑、発熱(37.2℃)、上気道炎、気管支炎	鼻汁	2018.04.27
<i>Bordetella pertussis</i> (百日咳菌)	20歳代	女	2018.04.25	百日咳、気管支炎	鼻汁	2018.04.27
<i>Bordetella pertussis</i> (百日咳菌)	50歳代	女	不明	百日咳疑	鼻汁	2018.05.06
<i>Bordetella pertussis</i> (百日咳菌)	30歳代	女	2018.04.25	百日咳疑	鼻汁	2018.04.27
<i>Bordetella pertussis</i> (百日咳菌)	0~4歳	女	2018.04.25	百日咳疑	鼻汁	2018.05.17
<i>Bordetella pertussis</i> (百日咳菌)	5~9歳	男	2018.04.25	百日咳疑	咽頭ぬぐい液	2018.05.01
<i>Bordetella pertussis</i> (百日咳菌)	30歳代	男	2018.04.27	百日咳(咳のみ)	鼻汁	2018.05.06
<i>Salmonella</i> Thompson (O7:k:1,5)	0~4歳	女	2018.05.02		便	2018.05.16
<i>Salmonella</i> Schwarzengrund (O4:d:1,7)	不明	女	2018.05.01		便	2018.05.16

○百日咳疑いで検査を行った7名が百日咳と同定された。7名のうち4名は成人で、そのうち2名からは百日咳菌も分離されている。菌の分離は排菌する可能性を示唆していることから、特に感染のリスクが高く、重症化しやすい乳児への接触には十分注意する必要がある。

★ウイルス

同定ウイルス名	年齢	性別	採取年月日	臨床症状等	検出材料	分離・検出日
インフルエンザウイルスAH3	1～4歳	男	2018.04.03	インフルエンザA型、39.5℃、気管支炎	咽頭ぬぐい液	2018.05.10
インフルエンザウイルスAH3	5～9歳	女	2018.04.10	インフルエンザA型、39.1℃、上気道炎(咽頭痛)	咽頭ぬぐい液	2018.05.10
インフルエンザウイルスAH1pdm09	40歳代	女	2018.04.10	インフルエンザA型、38.7℃、 上気道炎(咽頭炎・咽頭痛)	鼻汁	2018.05.10
インフルエンザウイルスB (山形系統)	30歳代	女	2018.03.31	インフルエンザB型、37.2℃	鼻汁	2018.05.10
インフルエンザウイルスB (山形系統)	10歳代	女	2018.03.12	インフルエンザB型、38.4℃、頭痛、咽頭痛	咽頭ぬぐい液	2018.05.10
インフルエンザウイルスB (山形系統)	1～4歳	女	2018.03.12	インフルエンザB型、発熱、上気道炎(咽頭炎)、 下気道炎(気管支炎)	鼻汁	2018.05.10
インフルエンザウイルスB (山形系統)	30歳代	男	2018.03.15	インフルエンザB型、39.0℃、頭痛、 上気道炎(咽頭痛)、下気道炎(気管支炎)	鼻汁	2018.05.10
インフルエンザウイルスB (山形系統)	10歳代	男	2018.03.17	インフルエンザB型、38.0℃	鼻腔ぬぐい液	2018.05.10
エコーウイルス9型	1～4歳	男	2018.04.21	エンテロウイルス感染症、38.8℃、発疹(紅斑)	咽頭ぬぐい液	2018.05.14
エンテロウイルス71型	1～4歳	男	2018.03.19	手足口病、口内炎(舌アフタ)、丘疹	咽頭ぬぐい液	2018.05.09
エンテロウイルス71型	1～4歳	男	2018.02.14	手足口病、発疹	咽頭ぬぐい液	2018.05.09
エンテロウイルス71型	1～4歳	男	2018.01.26	手足口病、口内炎、発疹	咽頭ぬぐい液	2018.05.09
単純ヘルペスウイルス1型	1～4歳	男	2018.04.16	肝機能障害、40℃、口内炎(歯肉炎)、 胃腸炎(腹痛)、肝炎	咽頭ぬぐい液	2018.05.11

○手足口病と診断された幼児3名からエンテロウイルス71型(EV71)が分離された。通常、手足口病は予後が良好であるが、まれに急性髄膜炎、脳炎等の合併症がみられることがある。特にEV71は中枢神経系合併症の発生率が他の手足口病を起こすウイルスより高いとされている。最近では2006年、2010年にEV71による手足口病の流行がみられた。2018年は4月30日現在で手足口病患者から分離・検出されたウイルスのうち最も多いのがEV71となっており、これから手足口病の流行のピークである夏を迎えるため、今後の発生動向に注意が必要である。

📊 全国 2018 年第 19 週の発生動向

□ 全数報告の感染症 (全国第 19 週)

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	371 例				
3類感染症	細菌性赤痢	10 例	腸管出血性大腸菌感染症	47 例	腸チフス	2 例
	パラチフス	1 例				
4類感染症	E型肝炎	13 例	A型肝炎	23 例	重症熱性血小板減少症候群	7 例
	つつが虫病	6 例	デング熱	1 例	日本紅斑熱	10 例
	マラリア	2 例	レジオネラ症	37 例		
5類感染症	アメーバ赤痢	13 例	ウイルス性肝炎	3 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	30 例
	急性脳炎	11 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	3 例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	12 例
	後天性免疫不全症候群	15 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	10 例	侵襲性肺炎球菌感染症	78 例
	水痘(入院例)	9 例	梅毒	80 例	播種性クリプトコックス症	3 例
	破傷風	2 例	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	2 例	百日咳	93 例
	風しん	3 例	麻しん	18 例		

麻しんの報告数は18例であった。愛知県、沖縄県(各5例)、福岡県(4例)、神奈川県(3例)、東京都(1例)から報告があり、30歳代、10歳未満(各5例)、20歳代(4例)、10歳代(3例)、40歳代(1例)であった。第1週から第19週までの累積報告数は149例となり、沖縄県(85例)、愛知県(24例)、東京都(11例)、神奈川県(8例)、埼玉県、福岡県(各6例)が多い。

□ 定点把握の対象となる5類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比171%と増加した。なお、前週と比較して増加した主な疾患は咽頭結膜熱と流行性角結膜炎で、減少した主な疾患はインフルエンザである。

R Sウイルス感染症の報告数は803人(0.25)で前週比109%と増加し、例年同時期の定点当たり平均値*(0.13)の約1.9倍である。沖縄県(2.4)、新潟県(0.93)、北海道(0.92)からの報告が多く、年齢群別では1歳以下が全体の約8割を占めている。

宮崎県 感染症情報

(72定点医療機関)

2018年 第20週(05月14日～05月20日)

疾病名		第19週	第20週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	40	46	19	6	9	5			3		4
	定点あたり	0.68	0.78	1.19	0.60	1.29	1.00	0.00	0.00	1.50	0.00	2.00
RSウイルス 感染症	報告数	10	9	5	1	1					1	1
	定点あたり	0.28	0.25	0.50	0.17	0.25	0.00	0.00	0.00	0.00	0.25	1.00
咽頭結膜熱	報告数	46	32	14	3	3	4		4		2	2
	定点あたり	1.28	0.89	1.40	0.50	0.75	1.33	0.00	1.00	0.00	0.50	2.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	95	92	16	21	13	1	2	2	3	8	26
	定点あたり	2.64	2.56	1.60	3.50	3.25	0.33	0.67	0.50	3.00	2.00	26.00
感染性胃腸炎	報告数	417	422	85	105	11	55	58	29	25	36	18
	定点あたり	11.58	11.72	8.50	17.50	2.75	18.33	19.33	7.25	25.00	9.00	18.00
水痘	報告数	29	19	4	9	1	1		3		1	
	定点あたり	0.81	0.53	0.40	1.50	0.25	0.33	0.00	0.75	0.00	0.25	0.00
手足口病	報告数	174	302	85	28	96	13	15	25		36	4
	定点あたり	4.83	8.39	8.50	4.67	24.00	4.33	5.00	6.25	0.00	9.00	4.00
伝染性紅斑	報告数	2										
	定点あたり	0.06	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	44	28	12	2	4	5	2			2	1
	定点あたり	1.22	0.78	1.20	0.33	1.00	1.67	0.67	0.00	0.00	0.50	1.00
ヘルパンギーナ	報告数	11	11		1	5	1	3				1
	定点あたり	0.31	0.31	0.00	0.17	1.25	0.33	1.00	0.00	0.00	0.00	1.00
流行性耳下腺炎	報告数	57	35		1	2	31		1			
	定点あたり	1.58	0.97	0.00	0.17	0.50	10.33	0.00	0.25	0.00	0.00	0.00
急性出血性結膜 炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	23	9	8		1						
	定点あたり	3.83	1.50	2.67	0.00	1.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ 肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数	1	1						1			
	定点あたり	0.14	0.14	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00		0.00	

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

上段:報告数
下段:定点あたり報告数

全数把握対象疾患累積報告数(2018年第1週～20週)

2類感染症	結核	72例(1)				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	2例(1)				
4類感染症	E型肝炎	3例	A型肝炎	21例	重症熱性血小板減少症候群	5例
	つつが虫病	1例	日本紅斑熱	2例	レジオネラ症	3例
5類感染症	アメーバ赤痢	1例	ウイルス性肝炎	2例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	6例
	急性脳炎	5例	クロイツフェルト・ヤコブ病	1例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1例
	後天性免疫不全症候群	4例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	3例	侵襲性肺炎球菌感染症	19例
	梅毒	1例	播種性クリプトコックス症	2例	破傷風	2例(1)
	百日咳	107例(17)	風しん	1例		

()内は今週届出分、再掲